

浪江町立学校閉校式・閉校のつどいを開催

9月23日(金)から9月25日(日)、秋桜アリーナ(浪江町地域スポーツセンター)において閉校のつどいが開催され、25日(日)には浪江町立学校閉校式が行われました。

閉校のつどいでは、各学校の思い出の写真などが展示され、訪れた皆さんは学校の歴史や文化に触れながら、学びや思い出を語り合いました。

閉校式では、6つの小学校、3つの中学校の校旗返納と添田哲平さん(浪江小、浪江中卒業生)による9つの校歌演奏が行われ、卒業生や教職員などの関係者が学びやに別れを告げ、約150年の長い学校の歴史に幕を下ろしました。



ピアニストの添田哲平さん



閉校のつどい



閉校式の様子は「なみえチャンネル」でご覧ください。



なみえ創成通信

学校の基本理念
子どもたちの生きる力と夢を育み、
地域の未来を切り拓く学校

9月21日水 オータムレク(中学校)

中学生はバスで葛尾村に移動し、12年ぶりに再オープンした葛尾村森林公園「もりもりランドかつらお」で、オータムレクを行いました。今回のオータムレクは生徒たちが中学1年生から3年生の学年を超えて縦割りの4班に分かれ、バーベキューを行いました。なかなか炭に火がつかず、火おこしに苦労する場面もありましたが、それぞれ役割を分担しながら協力して準備を進めていました。台風一過のさわやかな秋晴れの中、生徒たちは終始笑顔でバーベキューを満喫し、思い出に残る楽しい1日を過ごすことができました。



なかなか火がつかません…



役割分担! 協力して野菜を切ります



みんな大満足! 満腹です!

9月14日水 文部科学大臣による学校訪問(小学6年生)

永岡桂子文部科学大臣が来校し、授業の様子やふるさと創造学の取組を視察しました。

小学6年生による「ゼロカーボンシティ浪江～浪江町が目指す環境にやさしい町づくり～」では、水素学習で学んだことや、二酸化炭素の排出量を減らすために自分たちができていることを発表しました。「一人ひとりの意識と協力が町づくりに結びつき、将来を守ることにむかふことが」を伝え合いました。



総合学習「環境にやさしい町づくり」



理科「生き物のくらしと環境」

なみえ創成小学校・中学校ブログ [なみえ創成](#) [検索](#)

📍 なみえ創成小学校 ☎ 0240(23)5335 📍 なみえ創成中学校 ☎ 0240(23)5336

なみえっ子たちのお月見会

9月9日(金)、浪江にじいろこども園においてお月見会が開催されました。

園児たちはお月見の由来やお供え物の意味を学び、満月に見立てたまん丸のお団子を作りました。

お月見にちなんだレクリエーションで体をたくさん動かした後は、浪江町の秋の収穫に感謝しながら、お団子を口いっぱい頬張りました。



まーるくなーれ!! お団子作り



みんなで仲良くいただきます!

まちの話題



ふれあい合同演奏会を開催

9月24日(日)、秋桜アリーナ(浪江町地域スポーツセンター)のサブアリーナにおいて「浪江に音楽の風再び…」をテーマに、4つのグループによるふれあい合同演奏会が開催されました。

豊かなハーモニーの合唱と様々な楽器が奏でられ、癒やされる音色に酔いしれました。また、葛西哲之さん(牛渡)率いる和太鼓グループ「彩」は、圧巻のパフォーマンスと和太鼓の力強い音で会場を包みました。



震災後初めての伝統工芸士に認定

大堀相馬焼協同組合の小野田利治さん(春山窯)、山田慎一さん(鑄屋窯)が長年の伝統的技術の研鑽と高度な技術、識見を保持していることが認められ、一般社団法人伝統的工芸品産業振興協会から伝統工芸士の称号を贈られました。

「20歳から40年に渡って、大堀相馬焼と向き合ってきた。震災からの10年間は本当に辛い日々だったが、技術の継承など先を見据えたい」(小野田さん)、「長期の目標ではあるが、それぞれの窯元が浪江町で活気あふれるよう尽力したい」(山田さん)と、伝統工芸士として、大堀相馬焼の伝統を紡ぐ未来を見据えていました。

※経済産業大臣指定伝統的工芸品の大堀相馬焼は、高度かつ伝統的な技術が必要のため、習得には長い期間が必要となります。伝統工芸士はその伝統の技を習得し、研鑽を重ねて厳しい試験を合格した職人に与えられる国家資格です。



左から 小野田利治さん、山田慎一さん